

第41回大会

中国・四国・九州地区

生涯教育実践研究交流会



- 期 日 令和6年5月18日(土)～19日(日)
- 会 場 福岡県立社会教育総合センター
- 主 催 福岡県教育委員会
日本生涯教育学会九州支部
- 主 管 中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会 第41回大会実行委員会
福岡県立社会教育総合センター

テーマ 教育こそ未来より先に動かなければならない ～三浦清一郎先生を偲び、その志を継ぐ～

本大会では、昨年第40回大会を記念して『教育こそ未来より先に動かなければならない～未来の必要Ⅱ～』を編集・発行しました。第30回大会を節目に作成した記念出版以来、「未来の必要」は私たちの合言葉です。編集委員長の三浦清一郎先生が示された記念誌の主要コンセプト「未来の必要」は、過去の発表事例を「未来を展望していく素材」として分析・評価し、当該事業から未来に活用できる理念を取り出し、将来起こり得る課題を予測して“本来の事業はかくあるべき”という「内容と方法を提示する」ということでした。

しかし、未来を展望することは簡単なことではありません。社会がより複雑になり、変化が生活のあらゆる分野で起こり、新たな課題を生み出しています。変化をいち早く理解し課題に対処するためには継続的な学習と革新のための教育が必要不可欠です。また、伝統的共同体が崩れ地域のつながりが薄れている現在、第4期教育振興基本計画で掲げられた「ウェルビーイング（一人ひとりが幸せであるとともに社会全体も幸せや豊かさを感じられる良い状態）の向上」は容易なことではありません。“つどい、学び、つながる”社会教育の手法がますます重要になってきていると感じます。

本大会は「未来を展望する素材」となる実践事例に学ぶ場であり、学びを通じて志が出会い人がつながる場です。「現場の実践」から学び（実践研究）、語り合う（交流）会として、昭和57年に三浦清一郎先生が立ち上げられました。その三浦先生が昨年11月に82歳で逝去されました。直前まで執筆、講演をこなされ生涯現役を貫かれました。第41回大会は、三浦先生を偲び、先生のご功績を振り返りつつ、その志を継いで未来を展望する会にしたいと企画を考えました。先生と親しくされてきた方々だけでなく、話したこともないという皆様もどうぞご参集ください。

今年もまた「未来の必要」につながる24事例が集まりました。ご推薦いただいた各県実行委員の皆様へ心より感謝申し上げます。

本会をご支援・ご指導くださいます福岡県教育委員会、福岡県立社会教育総合センターに厚く御礼申し上げます。

中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会 代表世話人 大島 まな

中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会 第41回大会 実行委員会委員

平野 靖博（鳥取県）鳥取県教育委員会事務局社会教育課	田原 里恵（熊本県）熊本県教育庁市町村教育局社会教育課
原田 尚（島根県）島根県出雲市立灘分小学校	三角 幸三（熊本県）CPDI
福原 英忠（島根県）島根県益田教育事務所	山平 敏夫（熊本県）熊本県教育庁市町村教育局社会教育課
吉岡 康行（広島県）広島県海田町立海田東小学校	岡田 正彦（大分県）国立大学法人大分大学
武原 智明（広島県）広島県立福山少年自然の家	竹内 一久（宮崎県）宮崎県諸塚村教育委員会
正留 律雄（広島県）広島県大野子ども体験活動・ボランティア活動支援センター	前村 泰舗（宮崎県）宮崎県教育委員会生涯学習課
東川 絵葉（岡山県）岡山県倉敷市立西阿知小学校	当房 孝子（鹿児島県）鹿児島県立青少年研修センター
河本 潤（岡山県）独立行政法人国立青少年教育振興機構国立吉備青少年自然の家	鶴木 孝夫（鹿児島県）かごしま県民大学中央センター
赤田 博夫（山口県）前（公財）山口県人づくり財団 県民学習部	東原 辰巳（鹿児島県）薩摩川内市教育委員会中央公民館
矢田部敏夫（山口県）山口県阿武町立阿武中学校	大城喜江子（沖縄県）沖縄県浦添市立森の子児童センター
坂井 孝吏（高知県）高知県奈半利町立奈半利中学校	大島 まな（福岡県）前九州女子大学
濱崎 博志（高知県）NPO法人高知県生涯学習支援センター	森本 精造（福岡県）元飯塚市教育委員会
中尾 治司（愛媛県）独立行政法人国立青少年教育振興機構国立大洲青少年交流の家	古市 勝也（福岡県）九州共立大学
関 弘紹（佐賀県）NPO法人スチューデント・サポート・フェイス	正平 辰男（福岡県）飯塚市庄内生活体験学校
鴻上 哲也（佐賀県）佐賀県伊万里市民図書館	紫園 来未（福岡県）オフィスしおん
池田 龍二（佐賀県）（株）アルタ	菊川 律子（福岡県）放送大学
朝長 千恵（長崎県）長崎県教育庁生涯学習課	山田 明（福岡県）九州共立大学
棕本 博志（長崎県）長崎県社会教育支援「草社の会」	豊村 謙治（福岡県）福岡県教育庁教育振興部社会教育課
武次 寛（長崎県）長崎県社会教育支援「草社の会」	吉永 康之（福岡県）福岡県立社会教育総合センター

Time Schedule **1st day 5.18 Sat.**

9:15	10:00	10:30	12:20	13:10	13:50	15:40
受付	開会式	実践発表①		昼食	受付	実践発表②
玄関ロビー	2F 講堂	第1会場:2F 第2会場:2F 第3会場:4F 第4会場:4F	第4研修室 自由研修室 視聴覚室 大研修室		第1会場:2F 第2会場:2F 第3会場:4F 第4会場:4F	第4研修室 自由研修室 視聴覚室 大研修室

16:00	16:30	17:00	19:00
移動	特別報告 「『妻の定年～家庭内男女共同参画の最終章～』 遺稿を読み解く 報告者 大島 まな (2F 講堂)		第41回大会交流会 (2F 体育館)
	フリータイム		

第41回大会 交流会

■日時：1日目の夜 17:00～19:00 ■場所：2F 体育館

参加者、実践発表者、各県実行委員会の皆さまが一堂に会して、交流を深める場を設けています。以下の内容で実施します。御参加をお待ちしています。

食事、各都道府県の紹介、歓談(名刺交換)、おらがまちの名物自慢(特産品)オークション

また、オークションの売り上げは次年度の運営費の一部とさせていただきますので、御了承ください。

Time Schedule **2nd day 5.19 Sun.**

8:30	9:00	11:30	12:00	
受付	特別企画 三浦清一郎が問い続けた「未来の必要」～その教育思想と実践～ 【第1部】「各地生涯教育実践研究交流会の展開と意義 ～大会はなぜ広がったのか、何をもたらしたのか～ 登壇者 鈴木 昭博氏(茨城県水戸生涯学習センター次長) 中尾 治司氏(国立大洲青少年交流の家所長) 武次 寛氏(長崎県「草社の会」事務局長) 竹内 一久氏(宮崎県諸塚村教育委員会教育長) 聞き手 古市 勝也 (九州共立大学名誉教授)		総括閉会式	昼食
	【第2部】「青少年教育の原点と学社連携の可能性 ～タフな子どもを育てる教育プログラムと支援の仕組みを問う～ 登壇者 松田裕見子氏(長崎大学教授) 森本 精造 (元飯塚市教育委員会教育長) 聞き手 大島 まな (前九州女子大学教授)			
玄関ロビー	2F 講堂		2F 講堂	

ふるさと 自慢 ポスター展

■日時：5月18日・19日 ■場所：2F 講堂

大会参加中、参加者の皆さんが携わられている「むらおこし」「まちづくり」「ひとづくり」のイベントのポスターを掲示しています。どうぞ、ご覧ください。



第1会場●2F 第4研修室

■司 会／池田 龍二 (株)アルタ
小長 和宏 大分県立図書館 主任社会教育主事

分科会の進め方 10:25~10:30

1 みんなの声を町政に反映する百人委員会
～みんなの理想を具現化した「CHIZU PARK」～ 10:30~11:00

谷口 史行(鳥取県八頭郡智頭町) 智頭町役場 企画課 主事

智頭町は、課題の解決策を住民が行政に提案する百人委員会を平成20年に設置。中学校では地域課題を探り自分たちに何ができるかを考え実行する総合学習の授業「ちづNEXT」を行っている。令和3年度に遊び場が少ないという課題に2年生が取り組み、百人委員会で「みんなの理想CHIZU PARK」を提案、予算を得て翌年事業を実施した。企画立案、遊具やイベントの検討を、企業のサポートを受けながら中学生が担った。公園は現在町が管理、町民の憩いの場となっている。

2 地域学校協働活動の中核としての子ども会活動に関する実践
～子ども会活動を中核に据えた地域学校協働活動～ 11:10~11:40

鶴木 孝夫(鹿児島県始良市) 西始良校区コミュニティ 青少年育成部長

子ども会活動が校区コミュニティ活動の中核に位置づけられ、さらに、地域学校協働活動の「ど真ん中」にしようとする実践。運営は、①子ども会を校区コミュニティの青少年育成部に所属させ、②校区の子ども全員を子ども会に加入させた工夫、③校区の実情に応じた地域学校協働活動の充実等。事業では、①地域と学校、PTA（「おやじの会」改め「サポーターズ」）が共同しての事業、②高齢者との交流、③子ども主体の活動推進等が注目。

3 すべては子どもたちのために
～学校支援で始める地域支援～ 11:50~12:20

中村 千恵(福岡県田川郡川崎町) 川崎町社会教育委員会副委員長 川崎町立真崎小学校学校運営協議会委員事務局コーディネーター

真崎小学校では、読み聞かせ、授業の見守り、学習支援「学びっ子教室」、放課後子ども教室など、様々な場面で地域と学校が協働して子どもに関わり、「鍛え褒め励ますこと」で子どもたちを育てている。学校支援から始まった地域学校協働活動は、17年たった今、子どもたちの情緒安定や学びへの意欲・学力向上の一端を担うと共に、地域住民の学校理解・地域活動・交流にも繋がっている。地域活性化、持続可能な地域づくりに繋がる「地域学校協働活動」のお話。



第2会場 ● 2F 自由研修室

■司 会／平山 翔大 佐賀県まなび課 主査
武原 智明 広島県立福山少年自然の家 主査

分科会の進め方 10:25~10:30

1 あなたにきてほしい松島公民館
~「公民館 どんなところ なにするとところ みんなのところ」誰一人取り残さない地域を目指して~ 10:30~11:00

坂本 孝介(福岡県福岡市) 福岡市松島公民館 館長
坂口 直美(福岡県福岡市) 福岡市松島公民館 主事

8月に開催した校区夏祭りには住民が延べ5000人参加。12月に開催したふれあい福祉文化祭には延べ2300人が参加。誰一人取り残さない地域社会の実現に向けて、「公民館 どんなところ なにするとところ みんなのところ」を合言葉に、子育て親子の交流の場として「パパママ応援フェスタ」や、校区の子どもたちの育成のため大学生や公民館サークル団体と協力して開催した校区宿泊事業「公民館に泊まろう」、その他ウクライナの留学生をはじめ外国籍住民との交流事業等、多様な事業を展開中。

2 廃れた伝統文化の更新と文化の創造
~奉納相撲の場から「棧敷の音楽会」への展開~ 11:10~11:40

山本 統(山口県光市) むろづみ空想計画舎

室積は、山口県光市に位置する小さな海辺のまち。1970年代に入るとかつての賑わいは失われていったが、2000年代に入り、改めて地域として盛り上がり期待できる状況になってきた。20年前に廃れてしまった奉納相撲を行っていた場所を活用して棧敷の音楽会を企画した。この場所が地形的には音楽演奏に適していたことから、2023年6月より「野天の棧敷」の清掃・整備を開始した。市民団体として任意のメンバーで活動しているが、清掃活動の過程で絆が生まれ、「棧敷の音楽会」では室積に興味をわいたなどの反響があり、各種メディアにも取りあげられ、来訪者も増えた。

3 「地域を愛し 地域に愛される 学校づくり」
~学校と地域の活性化を目指した地域みらい留学の取組~ 11:50~12:20

岩谷 綾子(佐賀県西松浦郡有田町) 佐賀県立有田工業高等学校 学校魅力化コーディネーター

佐賀県教育委員会は令和4年度に地域社会とコラボレートした学校運営により高校の魅力を高める「SAGAコラボレーション・スクール」に9校を指定、有田工業高校はその重点校である。学校魅力強化委員会が地域と協働したプログラムを企画・運営している。焼き物のまちの特色を生かしたセラミック科、デザイン科に令和5年度は県外から6名が入学。地域は住居・食事等の生活支援を担い、生徒は地域行事に参画するなど地域と学校のモチベーションが上がっている。



第3会場 ● 4F 視聴覚室

■司 会／山本めぐみ 北九州市立鞆ヶ谷市民センター 館長
水上 真悟 津和野町教育委員会 派遣社会教育主事

分科会の進め方 10:25~10:30

1 学園生がお年寄りを笑顔で明るくする産山村
～子どもヘルパー活動を通じた地域課題解決に向けて～ 10:30~11:00

高橋 正郎(熊本県阿蘇郡産山村) 産山村社会福祉協議会 保健師

平成12年度から始まった活動は、今年度で25回を迎える。これまで博報賞、時事通信社「教育奨励賞（努力賞）」の受賞歴があり、NHKや民放でも特集されている。産山学園（義務教育学校）4～7年生の4学年合同で、子どもヘルパー研修会・体験会を経て学園サロンや高齢者の訪問活動などを実施している。運営は、産山学園、社会福祉協議会を中心に地域の民生委員・児童委員、教育委員会、健康福祉課などの連携・共同で展開されている。子どもたちの学校での学びを地域課題解決につなげるサービス・ラーニングの手法を導入している。

2 子育て世代の地域づくり「だんだんプロジェクト」による
手作りの児童クラブ 11:10~11:40

車 浩一(鳥取県西伯郡伯耆町) だんだんプロジェクト 代表
高野 喜子(鳥取県西伯郡伯耆町) たくしクラブ
森下希由子(鳥取県西伯郡伯耆町) たくしクラブ

小学校の統廃合問題をきっかけに危機感を感じた子育て世代が、地区の将来像や学校の在り方などについて語り合うプロジェクトを平成27年に立ち上げた。翌年には子育て部門の活動として放課後児童クラブ「たくしクラブ」を始動。小学校体育館と会議室、校庭等を中心にみんなで宿題をして遊ぶ場、多様な体験の場を創出し、学校と家庭だけではできない活動を通して子どもたちは成長している。現在では保護者以外の大人たちや卒業した中高生も関わり、町の補助事業となっている。

3 ジュニア・リーダーと地域が連携した共創型「協育」
～「地域の未来」を「未来のリーダー」とつくる～ 11:50~12:20

東 徹郎(鹿児島県出水市) 出水市教育委員会生涯学習課 参事兼指導主事

ジュニア・リーダークラブ「出水兵児（いずみへこ）」は意欲的な中高生の要望で、平成26年度に設立された（現在48名/令和6年2月）。年間を通じて活動しており、定例会（毎月1回）を市役所で開催、市のイベントや各種団体の運営ボランティアも行っている。次世代リーダー育成を目指しており、人づくりがまちづくりにつながることを期待している。クラブ員は地区や県主催のリーダー研修会等に参加して力量を高めており、自分たちで企画するイベントも検討している。



第4会場●4F 大研修室

■司 会／山口 博仁 湧水町教育委員会生涯学習課 課長補佐
山本 聡子 北九州市立生涯学習総合センター 主事

分科会の進め方 10:25~10:30

1 学びにおける自己肯定感の重要性と実践的な取組 10:30~11:00

出口光太郎(長崎県長崎市) ながさき若者会議・あいらしくプロジェクト 共同代表
大平 茜(長崎県長崎市) ながさき若者会議・あいらしくプロジェクト
佐伯 瑞葵(福岡県筑紫野市) ながさき若者会議・あいらしくプロジェクト

「ながさき若者会議」から生まれたプロジェクトのひとつ。2021年に発足。自分自身を振り返るワークショップを通して、自己肯定感・自己効力感の低い若者が、自分自身の良さに気づき、認めることができるきっかけづくりに取り組む。自分の考えや価値観をワークシートに記入し発表、その内容を聞いたグループメンバーが発表者へ「いいところカード」を渡すことで、新たな自分を知ることができる。別プロジェクト「ナガサキ女子」から依頼のワークショップやトークセッションを行うなど、他団体とも協働しつながりを広げている。

2 地元の大学生が挑む！地域の魅力づくりに関する研究
～温泉だけじゃない道後の新魅力の創出～ 11:10~11:40

阿河 優里(愛媛県松山市) NPO団体 イイトコ道後 代表
齊藤 葵(愛媛県松山市) NPO団体 イイトコ道後 副代表
村瀬 あみ(愛媛県松山市) NPO団体 イイトコ道後

2018年に地元松山市の大学に通う大学生により発足したプロジェクトであり、翌年NPO化している。注目は、道後は「温泉だけじゃないよ！」と、かつて賑っていた「上人坂」をもう一度活気を取り戻すために様々なイベントを企画運営していること。それは、①夏祭り・ツアー、②地元企業との商品共同開発等である。さらに、夕日を見ながら愛媛銘菓を食べ比べる「夕焼けベンチin宝厳寺」や「知られざる裏道後ツアー」の実施など新魅力開発等が参考になる。

3 小さな寄席小屋スタイルのチンドン屋 「花ふぶき笑劇場」 11:50~12:20

宮田 若奈(宮崎県都城市) 宮崎花ふぶき一座 座長

平成15(2003)年宮崎県都城市でチンドン屋「宮崎花ふぶき一座」を立ち上げ、2019年度には第53回全国選抜チンドンコンクールで念願の優勝を果たした。依頼を受けて活動するチンドン屋だが、2023年度は笑劇場を年6回開催した。笑劇場はチンドンを知らない世代との交流や地元のプロやアマチュア団体などとのコラボを通じて新しいチンドンの魅力発見を目的に開催している。出演者は、ギター、キーボード、和太鼓や篠笛、エイサーなども含めるとのべ20名以上である。小さな寄席小屋スタイルのライブをすることで新しいファンも増え、チンドン屋継続の道のりの応援者になっていただいている。

1st day
PM

第1会場●2F 第4研修室

■司 会／久保田啓子 長門市教育委員会社会教育課
山口 圭介 熊本県教育庁市町村教育局社会教育課 社会教育主事

分科会の進め方

13:45~13:50

1 いっしょに話そう、中学校区でひとつに! ～「地域へGo to ボランティア」からうまれたもの～

13:50~14:20

小林 和彦(島根県雲南市) 木次地区学校運営協議会 会長(地域自主組織「新市いきいき会」会長)
青砥 晃子(島根県雲南市) 雲南市教育委員会 地域コーディネーター
山根 陽子(島根県雲南市) 社会教育士

「地域へGo to ボランティア」は令和3年度より始まった。中学生には地域の人と関わり、地域貢献を通して故郷へ愛着をもつことを期待している。コミュニティ・スクールを基盤に、学校運営協議会、地域自主組織連絡協議会、中学校が中心となって運営されている。ボランティアは夏休みを中心に実施され、学校運営協議会は年3回程度開催されている。活動形態は関係組織間の協働、委託、NPOなどで、こどもを真ん中に地域・学校・家庭・教育行政のつながりづくりや対話にポイントがおかれているが、コーディネーターの存在が重要である。

2 「ふるさとの大地に輝く氷川っ子」の育成

14:30~15:00

古閑 由美(熊本県八代郡氷川町) 氷川町教育委員会生涯学習課 統括的な地域学校協働活動推進員
稲本 眞理(熊本県八代郡氷川町) 氷川町教育委員会学校教育課 CSディレクター

平成21年度より氷川町の5校がコミュニティ・スクールとして活動を始める。平成26年度より中学校区拡大大学校運営協議会を組織化し、平成30年度に各校を繋ぎまとめるCSディレクターを置き、小中連携による地域と学校の連携を進める。

令和2年度より、11月第1土曜日を氷川町「CSの日」と設定し、各中学校区でCS委員と地域学校協働活動推進員と連携しながら、中学生による「ふるさと氷川学」を使った小学校への出前授業を行うなど、地域の人と一緒に学校を応援する日として毎年取り組んでいる。

3 あなたの子育て応援します! ～「ともに」育てるネットワークづくり～

15:10~15:40

森 郁子(福岡県柳川市) 柳川市地域子育て支援拠点このゆびとまれ子育て支援コーディネーター

元幼稚園教諭。結婚で地縁血縁の無い土地での孤独な子育てを経験。保育を仕事にしてきても、わが子の子育てはわからないことだらけ、地域と繋がりたい!と強く思いました。その時の不全感とその後の活動の原動力になり、子育ての仲間作り、子育てサークル活動、子育てサークルのネットワークを作り福岡県の助成金を受け、のべ1000人の親子が参加するイベントを実施。行政とのネットワークも作り、子育て親子の居場所作りに奔走した20年をお話しします。

■司 会／柴田 綾子 長崎県教育庁生涯学習課 指導主事
今井 博志 愛媛のおやじ井戸端会議

分科会の進め方

13:45~13:50

1 地域発信!こどもサポートにっこ・にこ

13:50~14:20

小畑たるみ(大分県杵築市) NPO法人こどもサポートにっこ・にこ 理事長

地域ぐるみで子どもの健全育成に寄与するため、1997年にスタートした。事業目的を達成するためには、親への支援や地域づくりが必要不可欠。多くの親が子育てに不安を抱える今日、一人で悩みを抱えず、ともに考えていく子育ては確かなよりどころとなる。地域社会の再構築を目指し、子育て世代のみならず地域福祉の充実にも取り組む。行政の委託事業による「こども第三の居場所プロジェクト」では地域の子どもたちに、もう一つの家を提供、生き抜く力も育くむ。NPO法人にっこ・にこは地域の信頼を得ているが、今後の課題として、さらなる社会教育と福祉の連携を模索している。

2 「ない」「ない」「ない」
～つやまキャンプの「ない」事例～

14:30~15:00

小椋 聖也(岡山県津山市) 津山「体験の風」実行委員会 代表

岡山県北部に少年自然の家による体験活動の機会がないため、「つやまキャンプ」を始めて早5年。子ども・家族・不登校児を対象に個性豊かな宿泊体験を通して、友だちの輪を広げ、大きな挑戦のできる機会が拡大中である。その中でも、特に人気の事業には「ない」という共通点があった。「ない」からこそ生まれる絆・成長・居場所があると実感している。

3 小学生による俳句相撲大会
～20年を超える継承の軌跡～

15:10~15:40

古川 裕三(山口県下関市) 菊舎顕彰会 会長

菊舎は江戸時代の俳人(豊北町出身)。大会は毎年1月に開いている。豊北町の豊北小学校5年生がお題にしたがって俳句を作り、持ち寄った句を八つの班に分かれて代表句を選び東西対決をする。土俵を囲む児童が東西を現わす赤、青いずれかのうちわを掲げて勝敗を決める。大会は20年以上前に田耕(たすき)小で始まり、学校統合の後も豊北小が継承し毎年開いている。行司を務める菊舎顕彰会の会長として、菊舎という人が郷土にいたことを伝え、日本の伝統文化を子どもたちに伝えていきたい。

■司 会／堀 明美 宇部市教育委員会 社会教育地域連携推進 企画員
小倉希一郎 島根県立東部社会教育研修センター 社会教育主事

分科会の進め方

13:45~13:50

1 地域全体で子供たちの学びや成長を支える地域学校協働活動の推進 ～学校応援団の活性化と寺子屋「黒木塾」の企画・運営等を通して～

13:50~14:20

平山 淳郎(鹿児島県薩摩川内市) 鹿児島県曾於郡大崎町立菱田小学校 校長
(元)鹿児島県薩摩川内市立黒木小学校 校長

黒木地区コミュニティ協議会内に地域学校協働本部を置く独自の推進システムを整備するとともに、地域素材(ヒト・コト・モノ)の発掘や整理、見直し、コーディネート工夫等を進め、学校応援団活動(学校支援ボランティアによる学校支援活動)の拡充を図る。また地域学校協働活動の核となる活動として寺子屋「黒木塾」を設立。学校と地域の様々な団体等の連携・協働により、子供たちの学習・体験の場を意図的・計画的に作り出すことを通して、学校と地域の相互理解の高まり、連携、協働の強化につなげている。

2 教育と福祉の融合をめざして ～つながって、地域で子どもを見守り、支える仕組づくり～

14:30~15:00

普久原小百合(沖縄県浦添市) 一般社団法人まちづくりうらそえ

児童センターで見受けられる課題を抱える児童に対して、一団体だけでは難しい対応を地域の大人たちが一緒になって関わっていきこうと始まった。活動の中心は五者会議であり、児童センター(まちづくりうらそえ)、神森小学校、神森こども園などである。月に一度、持ち回りで五者会議を実施。気になる児童の詳細、各施設に協力してほしい情報を共有。支援が必要な児童へは対応方法、実施、進捗、課題を共有している。学校からの依頼もある。学校・学童・児童センターの連携で「地域の子」として関わりが深まっている。

3 高校生のためのサードプレイス ～地域で生きる高校生のチカラ～

15:10~15:40

佐藤 淳子(大分県大分市) 未来応援コミュニティ b-room 代表

高校生がもっと地域で輝ける場所をつくりたいと『高校生のためのサードプレイス』家庭でもない学校でもない第3の居場所を、地域住民6名で運営。活動拠点は地域の仏壇店隣のテナントを借用、地域の支援や助成金を活用し年間約30活動を実施。平日は放課後に気軽に立ち寄れる場所に、土日祝祭日はボランティア活動、体験活動、高校生向け講座を実施している。活動を通し、高校生が主体性をもった取組につなげることを目指している。

第4会場●4F 大研修室

■司 会／萩尾 大輔 福岡県教育庁福岡教育事務所社会教育室 主任社会教育主事
後藤 洋司 宮崎県教育庁生涯学習課 副主幹

分科会の進め方

13:45~13:50

1 好きだからこそ始まった人づくり・地域づくり ～けん玉がつなげた仲間たち～

13:50~14:20

山本 まり(山口県山口市) 日本けん玉協会山口県支部 事務局

けん玉競技の指導を目的とした教室から始まった。現在は、放課後児童クラブの活動支援、高齢者の健康支援、イベントでのパフォーマンス(演技指導)など多様なニーズに対応した活動に発展している。活動の根底は「けん玉道」。けん玉を通して礼儀を大切に、基本技から上級の技を習得して充実感や達成感を味わっている。運営は人材バンク登録、教室や大会の情報発信、各教室の相互協力を基本としたボランティアである。「仲間づくりをしたい」と願うメンバーが話し合いを重ね、大人の学びの場ともなっている。

2 『あさはらビジョンづくりワークショップ』に関する実践研究

～ビジョンを描こう!呼びかけよう!私たちがやりたい姿はこんな感じだ!～

14:30~15:00

中村 満(広島県廿日市市) (前)廿日市市地域振興部佐伯支所浅原市民センター 所長
廿日市市地域振興部佐伯支所友和市民センター 所長

小学校跡地を「交流会館」として整備し、地域の生活拠点とした活動の実践研究事例。仲間を募り!ビジョンを描き!さらに呼びかけ!など、ビジョン策定プロセスでのアイデア出し・ワークショップの企画運営支援等の工夫が注目。特にビジョン策定までのチームづくり、関係機関組織との連携、完成後のビジョンの使い方の工夫等は今後の地域ビジョンづくりに参考になる。

3 益田市の「ひとづくり」の系譜

～なぜ「ひとづくり(社会教育)」が市の重要施策となったのか～

15:10~15:40

大畑 伸幸(島根県益田市) (元)益田市教育委員会 ひとづくり推進監

「地縁から子縁」の合言葉のもと益田市総合戦略(H27)、益田市ひとづくり協働構想(H28)が策定、ひとづくりシステム構築の基盤が形成された。持続可能なひとづくりによる地方創生を目的に市教育委員会協働のひとづくり推進課が中心となり、公民館を核として市全体・豊川地区・北仙道地区他で実践されている。ライフキャリア教育として対話を重視した次世代育成(益田版カタリバ、新職場体験、地域貢献活動)、ひとが育つまち益田フォーラム等である。市役所全各部署、社会教育コーディネーター、中間支援団体(一般社団法人豊かな暮らしラボラトリー)の連携協働が機能しており、絶えず現場に新たな動きを創るための人材配置及び育成に配慮している。

1st day
5.18 Sat.

第41回大会 特別報告

■時間 / 16:00 ~ 16:30 ■会場 / 2F 講堂

テーマ●「妻の定年～家庭内男女共同参画の最終章～」
遺稿を読み解く

報告者：大島 まな

2nd day
5.19 Sun.

第41回大会 特別企画

■時間 / 9:00 ~ 11:30 ■会場 / 2F 講堂

テーマ●三浦清一郎が問い続けた「未来の必要」
～その教育思想と実践～

第1部：9:00～10:10

「各地生涯教育実践研究交流会の展開と意義
～大会はなぜ広がったのか、何をもたらしたのか～」

登壇者：茨城県水戸生涯学習センター次長
国立大洲青少年交流の家所長
長崎県社会教育支援「草社」副会長兼事務局長
宮崎県諸塚村教育委員会教育長

聞き手：九州共立大学名誉教授

鈴木 昭博
中尾 治司
武次 寛
竹内 一久
古市 勝也

第2部：10:20～11:30

「青少年教育の原点と学社連携の可能性
～タフな子どもを育てる教育プログラムと支援の仕組みを問う～」

登壇者：長崎大学教授
元飯塚市教育委員会教育長
聞き手：前九州女子大学教授

松田裕見子
森本 精造
大島 まな

<登壇者・聞き手プロフィール>



●鈴木 昭博 茨城県水戸生涯学習センター次長

茨城県公立学校教諭から古河市教育委員会社会教育主事、国立那須甲子青少年自然の家企画指導専門職、茨城県教育庁生涯学習課社会教育主事、茨城県公立中学校教頭、国立赤城青少年交流の家次長、茨城県公立小学校長を経て、現在、茨城県水戸生涯学習センター次長兼企画振興課長。平成27年スタートの「関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会」設立の中核的役割を果たした。



●中尾 治司 国立大洲青少年交流の家所長

愛媛県の公立小学校教諭として20年間勤務。その間、在外教育施設のウィーン日本人学校で3年間勤める。行政機関では、双海町教育委員会で2年間、愛媛県教育委員会で8年間、社会教育主事や担当係長として社会教育行政に携わった。その後、小学校校長を2年間務め、令和5年4月から現職。10年前から地域教育実践交流集会実行委員を務めている。



●武次 寛 長崎県社会教育支援「草社の会」副会長兼事務局長

長崎県香焼町教育委員会社会教育主事として長く勤務。うち香焼公民館館長及び香焼図書館館長、長崎県社会教育委員を歴任。退職後、長崎市香焼公民館と諫早市多良見公民館の社会教育指導員を務めた。長崎県社会教育支援「草社の会」の設立に努め、副会長兼事務局長として活動中。県内の公民館高齢者講座等のお呼びを楽しんでいる。



●竹内 一久 宮崎県諸塚村教育委員会教育長

公立小学校教諭として12年間勤めた後、行政機関等（諸塚村教育委員会、国立大隈自然の家、教育事務所、県教育庁生涯学習課長補佐）や学校（教頭、校長）に勤務。退職後、宮崎県PTA連合会事務局長を経て、現在、諸塚村教育委員会教育長。平成29年スタートの「宮崎県生涯学習実践研究交流会」設立・実施の中心的役割を担った。



●古市 勝也 九州共立大学名誉教授

九州共立大学・九州女子大学・同短期大学生涯学習研究センター所長、九州共立大学スポーツ学部教授、九州共立大学地域連携推進室長を経て現職。日本生涯教育学会生涯学習実践研究所福岡センター長、「西日本『生涯学習御学友』ネットワーク」世話人代表、第34回大会から第40回大会まで本交流会の代表世話人を務めた。



●松田裕見子 長崎大学教授

壱岐市立霞翠小学校研究主任時に長崎県教育委員会研究指定「タフな子どもを育むための実践モデル事業」（平成14～16年）を担当。その後同校教頭、壱岐市教育委員会指導主事、壱岐市立柳田小学校校長を経て、平成27年度より長崎県教育庁義務教育課小学校人事班管理主事、同班参事、義務教育課人事管理監、壱岐市教育委員会学校教育課長など教育行政に従事。令和3年度から壱岐市立石田小学校校長、令和6年3月に退職。4月より現職。



●森本 精造 元飯塚市教育委員会教育長

福岡県教育庁社会教育課長、福岡県立社会教育総合センター所長、穂波町教育長、飯塚市教育長、飯塚市青少年教育施設サンブレッジ茜理事長を歴任。穂波町時代、全公立小学校に「子どもマナビ塾」、「熟年者マナビ塾」の導入、飯塚市では「いづか市民マナビネットワーク」（e-マナビ）など先駆的行政施策の開発を手掛けてきた。退職後は「学童と学校の連携」（学社連携）に奔走。



●大島 まな 前九州女子大学人間科学部 教授

九州大学教育学部社会教育講座、九州女子大学・九州女子短期大学地域教育実践研究センター所長等を経て今春退職。これまで福岡県、北九州市の社会教育委員、福岡県青少年問題協議会専門委員等を務め、現在（公財）アジア女性交流・研究フォーラム理事、（一社）全国社会教育委員連合理事。第41回大会から本交流会の代表世話人を務める。共著に『現代教育の忘れ物』、『子どもに豊かな放課後を』などがある。

第40回大会開催報告

●大会期日 2023(令和5)年5月20日(土)~21日(日)

●場 所 福岡県立社会教育総合センター

実践研究発表者
司会者及び
県別参加者

中国地区			
県名	実践研究発表者数	司会者数	参加者数
山口	3	2	7
広島	1	1	7
島根	6	2	15
鳥取	2	0	20
岡山	1	0	3
計	13	5	52

中国・四国・九州地区以外			
県名	実践研究発表者数	司会者数	参加者数
東京	0	0	6
大阪	0	0	7
神奈川	0	0	1
愛知	0	0	1
静岡	0	0	1
滋賀	0	0	1
埼玉	0	0	2
計	0	0	19

九州地区			
県名	実践研究発表者数	司会者数	参加者数
福岡	7	6	181
佐賀	3	1	15
熊本	4	1	14
大分	3	0	21
宮崎	1	0	12
長崎	1	1	22
鹿児島	1	1	6
沖縄	1	0	8
計	21	10	279

四国地区			
県名	実践研究発表者数	司会者数	参加者数
徳島	0	0	1
愛媛	1	1	9
高知	1	0	2
香川	0	0	0
計	2	1	12

	発表者数	司会者数	参加者数	総参加者数
総計	36	16	362	414

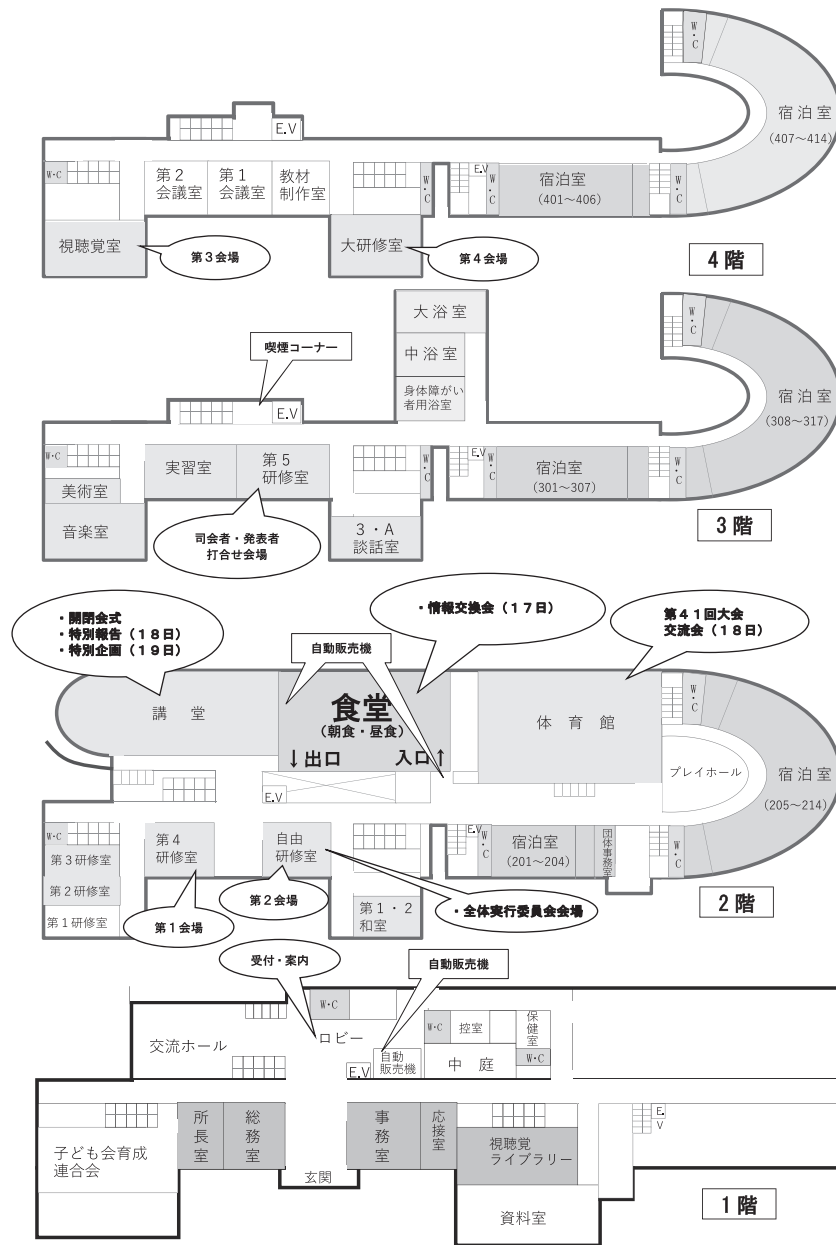
特産品、稀少品ありがとうございました
第40回大会も皆様のご協力により、
たくさんの特産品が集まりました。ありがとうございました。

番号	氏名・団体名(様)	県名	所属名等	特産品名
1	古市 勝也	福岡	九州共立大学	本格焼酎「さくらじま」
2	日高 公德	福岡	福岡県教育センター	シライト45
3	矢野 邦彦	福岡	久留米市立大善寺小学校	久留米黒棒本舗お菓子セット
4	平川 真一	福岡	福岡県子ども会育成連合会	福岡の米焼酎「河童九千坊」
5	井手 優二	福岡	福岡県立社会教育総合センター	純米米焼酎「篠栗伝説」
6	武原 智明	広島	広島県立福山少年自然の家	はっさくゼリー・レモンケーキ
7	今井 博志	愛媛	愛媛のおやし井戸端会議	小松おやし部 前掛け
8	眞鍋 幸一	愛媛	愛媛のおやし井戸端会議	針はまっすぐ正直にの六時屋タルト
9	杉原 潔	広島	広島県青少年育成アドバイザー協議会	レモンクッキー
10	杉原 潔	広島	広島県青少年育成アドバイザー協議会	ハッサクジュース
11	河本 潤	岡山	国立吉備青少年自然の家	マスカットきびだんごなど
12	田中 恒治	鳥取	鳥取県教育委員会事務局西部教育局	星取県 星空のムコウ(チョコクランチ)
13	森本 精造	福岡		テトラエッグ
14	緒方・民長	熊本	NPO法人教育支援プロジェクトマスターズ熊本	ラーメン
15	小原 恵二	熊本	熊本市教育委員会	焼酎
16	赤田 博夫	山口		萩の一品(松陰先生)
17	濱崎 博志	高知	NPO法人高知県生涯学習支援センター	ミレービスケット「ミレーの枕」
18	石塚 拓海	愛媛	今治市役所	伯方の塩を使ったどら焼き
19	濱崎 博志	高知	NPO法人高知県生涯学習支援センター	魚まるかじり
20	三角 幸三	熊本	CPDI	陣太鼓 その他
21	鶴木 孝夫	鹿児島	かごしま県民大学中央センター	彩りのかるかん
22	岡田 正彦	大分	大分大学	日本酒 鷹来屋 特別純米
23	岡田 正彦	大分	大分大学	麦焼酎 特蒸泰明
24	大島 まな	福岡	九州女子大学	博多とんこつラーメン+めんたい高菜のセット
25	坂本 浩二	鳥取	東部教育局	ゲゲゲの鬼太郎セット
26	平野 靖博	鳥取	鳥取県教育委員会	牛骨ラーメン
27	松本 康彦	埼玉	日高市教育委員会	狭山茶
28	眞崎・山森	福岡	国立夜須高原青少年自然の家	白鶴 純米大吟醸
29	緒方真由美	福岡	飯塚市穂波交流センター	成金饅頭
30	上野 修司	鹿児島	国立大隅青少年自然の家	本格焼酎さつま大海「カンパチーノ」

31	社会教育課一同	福岡	教育庁社会教育課	三井の寿
32	市村 智子	福岡	福岡県文化振興課	福岡県おかしセット
33	大下 真史	鳥取	南部町教育委員会	鳥取県ご当地カレー
34	谷口 由美子	福岡	大刀洗町北鶏木老人クラブ幸寿会	三井の寿
35	清家 卓	愛媛	のむら自治振	銘酒緒方洪庵
36	中尾 治司	愛媛	国立大洲青少年交流の家	水郷大洲志ぐれ
37	大下 真史	鳥取	南部町教育委員会	鳥取 白バラお菓子セット
38	田中 宗詞	鳥取	米子市	鳥取が生んだウイスキー「山陰」
39	田中 宗詞	鳥取	米子市	鳥取県から「あわてずにゆっくりやれ(焼酎)」
40	谷口 由美子	福岡	大刀洗町北鶏木老人クラブ幸寿会	大刀洗まんじゅう
41	清家 卓	愛媛	のむら自治振	NomuLike(ノムライク) みんな野村を好きにならずにいられない
42	坂本 洋子	高知	野老山おとなの学校	けんぴ、ふくろうぬいぐるみ
43	緒方 友希	熊本	熊本県教育庁人権同和教育課	熊本の高校生考案商品 芦高の逸品Sunkiss乳酸八代農業万能たれ
44	本庄 陽子	神奈川	青山学院大学コミュニティ人間科学部	青学カレー
45	清永 敦子	熊本	熊本県庁社会教育課	熊本県氷川町晩白柚セット
46	竹内 一久	宮崎	諸塚村教育委員会	宮崎の焼酎 百年の孤独
47	関 弘紹	佐賀	前佐佐賀県立生涯学習センター(アバンセ)	ムツゴロウ・エナジードリンク
48	関 弘紹	佐賀	前佐佐賀県立生涯学習センター(アバンセ)	わらすば
49	長崎県生涯学習課一同	長崎	教育庁生涯学習課	麦焼酎
50	紫園 来未	福岡	オフィスしおん	手作りマスクホルダー
51	西原町一同	沖縄	西原町	琉球泡盛 かめ仕込
52	西原町一同	沖縄	西原町	マンゴー梅酒
53	緒方 友希	熊本	熊本県教育庁人権同和教育課	ニラ味ラーメン塩・豚骨
54	吉岡 康行	広島	広島県海田町立海田西小学校	広島県セット(カープシートクッション・尾道ラーメン)
55	井上 杉夫	大分	口演家	米焼酎耶馬美人25度
56	水上 慎悟	島根	津和野町教育委員会	TSUWANANO CRAFT BEER つわのクラフトビール
57	南 勇輔	鹿児島	与論町教育委員会事務所生涯学習課	島有泉
58	穴戸 史歩	鳥取	北栄町教育委員会生涯学習課	名探偵コナングッズ
59	水落 義行	福岡	大川市立田口小学校	エイリアンエナジー、エイリアン ラーメン
60	水落 義行	福岡	大川市立田口小学校	ムツゴロウ ラーメン、ふりかけ
61	市川 元子	長崎	佐世保市山澄地区コミュニティセンター	まごころポルト
62	穴戸 史歩	鳥取	北栄町教育委員会生涯学習課	名探偵コナングッズ
63	大城 喜江子	沖縄	(社)まちづくりうらそえ	黒砂糖
64	當山 洋子	沖縄	NPO法人沖縄上等プロジェクト普天間やまがっこう	味付乾燥梅干スッパイヤマン
65	青木 浩平	島根	雲南市教育委員会	卵かけご飯専用醤油おたまはん
66	當山 洋子	沖縄	NPO法人沖縄上等プロジェクト普天間やまがっこう	甘くておいしいOKINAWAクッキー
67	松尾 修	長崎	長崎県教育草社の会	そのぎ茶
68	宮崎 紀子	福岡	大牟田市教育委員会	大牟田の名物 草木饅頭&三池たかな
69	新木 圭彦	茨城	文部科学省国立教育政策研究所	こしひかり米
70	筒井 公章	東京	文部科学省国立教育政策研究所	浅草の土産セット
71	前田 隆志	栃木	社会教育実践研究センター	晩酌セット
72	芝尾 文徳	大分	日出町教育委員会社会教育課	大分むぎ焼酎 二階堂吉四六
73	矢田部 敏夫	山口	山口県美祢市立美東中学校	とらぶくせんべい
74	原田 フミ子	福岡	南筑後教育事務所	南筑後セット
75	紫園 来未	福岡	オフィスしおん	手作りマスクホルダー(リボン)
76	原 敦代	島根	荒木コミュニティセンター	干しぜんざい
77	東川 絵葉	岡山	倉敷市立第四福田小学校	岡山名物ままかりづくしセット
78	池端 幸徳	熊本	熊本県庁市町村教育局社会教育課	黒いクマのぬいぐるみ
79	宮崎県生涯学習課	宮崎	宮崎県教育庁生涯学習課	糞(かめしずく)
80	大峠 桐	島根	益田市教育委員会	高津川リバーピアのリバークラフトビール
81	縄田 早苗	大分	別府市	大分むぎ焼酎 二階堂
82	飯野 小巻	宮崎	延岡市教委	肉まきおにぎり
83	上野 敦子	山口	井関にここクラブ	五橋 おさけ
84	山根 敬仁	岡山	倉敷市玉島西公民館	良寛てまり
85	久保田啓子	山口	家庭教育支援チーム「ふあみ」	鶏卵塩せんべい
86	太田黒 保宏	熊本	大津町立大津東小	陣太鼓
87	今西 幸蔵	大阪	高野山大学	水わらび餅
88	入江 雅史	鳥取	西部地区社会教育主事OB会	ナガタソダチのコシヒカリ
89	渡辺 いづみ	福岡	東戸畑市民センター	天の宙(純米吟醸)
90	菊川 律子	福岡	前放送大学副学長	筑紫もち
91	矢野 勝也	福岡	福岡県教育庁社会教育課	ミュゼモーツァルトクッキー
92	正留 律雄	広島	大野子ども体験活動ボランティア活動支援センター	もみじまんじゅう
93	水落 義行	福岡	大川市立田口小学校	黒麹醪酢(もろみす)
94	檜垣 邦世	鳥取	鳥取県立生涯学習センター	名探偵コナン魅惑の鳥取牛カレー
95	野村 匠人	山口	井関にここクラブ	おかし

なお、紙面の都合上、敬称と職名は省略させて頂きました。万一、誤字や脱字、または記入漏れがありましたときは、御容赦下さいますようお願いいたします。

会場案内図



「ふくおか社会教育ネットワーク」

にて本大会の発表事例は、掲載されます！



その他、福岡県内の社会教育に関するイベント・施設・HPリンクが見られる充実したホームページです。

ホームページアドレス

<http://www.fsg.pref.fukuoka.jp>

ぜひ一度
ご覧ください！



福岡県立社会教育総合センター

住所 〒811-2402 福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2
 TEL 092-947-3512 FAX 092-947-8029